

紀要の創刊にあたって

川崎市立看護短期大学
学長 井 澤 方 宏

川崎市立看護短期大学紀要創刊号ができあがりました。開学一年目は初めて行う学内行事や委員会活動に何かと時間をとられ、研究の時間が必ずしも十分にとれなかったり、コンピューターシステムの導入が予定より遅れたこと等もあり成果のとりまとめに時間を要したかと思われますが、紀要編集委員会をはじめ多くの関係者の努力のおかげで、本紀要を創刊することができました。

公立の短期大学は、地域の強いニーズによって設立されている訳ですから、教育や研究、その他短期大学の活動によって得られた成果は地域に還元し共有され、地域社会の発展に貢献することが期待されております。本学教員は日々の学生教育の中で、短期大学教員としての自覚を新たにし、研究面では今日的課題に真摯に立ち向かい研究者として日々研鑽に努めておるところです。本学教員による研究報告集録がこの紀要ですので、この紀要の発刊が学生教育に反映し、また医療・看護界の向上や期待に応えたとともに地域の中でも一定の役割を果たすことができれば非常に幸いに思っております。

今後、まだしばらくの間は学校運営等での忙しさが続くかと思いますが、さらに研究を発展させて優れた研究論文が数多く投稿・掲載され、意義ある学術研究誌として本紀要が発展することを切に期待いたします。